

日本原水協FAXニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 2011年
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com 5月9日

核兵器のない平和で安全な世界を 2011国民平和進行スタート

「歩こう 核兵器のない世界へ」と、2011 国民平和進行が5月6日、東京・夢の島、8日北海道・礼文島と愛媛県四国中央市を出発しました。



礼文島を出発＝8日・北海道→東京コース



夢の島を出発＝6日・東京→広島コース

核兵器のない世界、復興支援と原発依存からの脱却、自然エネルギーへの転換をひとつに

6日に行われた夢の島出発集会では、高草木博世界大会運営委員会代表が主催者あいさつで「6月には青森、岩手、宮城、福島、茨城と、被災地を貫き、核兵器のない世界、復興支援と原発依存からの脱却、自然エネルギーへの転換をひとつとし、人にも自然にも優しい世界のために歩き続けます。東京・広島コースの成功とともに、被災地での行進を支援し、すべてのコースで行進を成功させようではありませんか」と訴えました。

全国で東北を支えよう

それぞれの行進出発日は青森 6月5日(日)、岩手 11日(土)、宮城 19日(日)、福島 内陸側25日(土)・太平洋側26日(日)、です。被災地写真展や被災者激励コンサート、フリーマーケットなど、具体的な支援のとりくみのアイデアを持ち寄りましょう。

ピースフラワー隊が500本のスターチス販売

今年の行進では東日本大震災で被災した千葉県旭市の生花農家への救援も兼ねて「ピースフラワープロジェクト」として、スターチスを行進参加者や沿道の人たちに販売しました。銀座を行進中、「飯舘村」というノボリ旗が出ていた福島館の前で花の話をすると、「私も千葉県民だから」と買ってくれる人がいました。

2日目の行進でも引き続き販売し、用意した500本は完売。売上の10万7244円は全額、千葉県農民連に募金しました。

もっと沿道アピールを

700 人が参加した行進では、先頭をデコレーションされた軽トラが走り、ラップ調のピースコールやミッキーマウス・マーチに合わせて「核兵器なくそう」「自然エネルギーへの転換を」と訴えました。

東京の被爆者 28 人が数寄屋橋で合流し、行進の先頭を歩きながら核兵器のない世界をアピールしました。また、沿道で署名にもとりくみ、3 人で 45 筆が集まりました。

2009 年以來の事前ビラを配布した江東区門前仲町では、クリーニング店の方が署名を手渡してくれました。八百屋の店先では、おじさんが「安全じゃない物はダメだ」と快く署名してくれました。

署名にとりくんだ 2010 年東京→広島コース通し行進者の大越文さんは「自転車に乗っていた人や親子連れなど、平和行進の存在をよく分からなかった人たちも署名してくれ、あらためてアピールの足りなさも感じました。逆に言えば、まだ可能性もあると思います」と話していました。

13 日間、被爆者を先頭に一神奈川

7 日、行進は川崎市役所で神奈川県に引き継がれました。8 日の出発集会で川崎原爆被災者の会の山口会長は「平和行進が平和を築く礎になると確信し、先頭を歩きます」とあいさつしました。神奈川県原爆被災者の会のみなさんは 19 日まで 13 日間、毎日先頭を歩きます。

昨年 7 人だった神奈川県内通し行進者は今年 9 人に増えました。その中の 1 人、鎌倉市被爆者の会の副会長を務める塩瀬康雄さんは、3 回目の県内通し行進者にチャレンジしています。7 歳で入市被爆した塩瀬さんの夢は、全国通し行進者として東京から広島まで歩くことです。

冷たい風の中、心温まる応援一北海道

北海道では、礼文島の礼文町役場前で出発式が開かれ、平和大行進中央実行委員会を代表して嶋田千津子・道原水協事務局次長が「新しい国際署名が始まって初めての平和大行進。その意義は大きい」「礼文から始まるこの平和大行進の声が世界に届いています」と激励のあいさつをしました。

北海道→東京コース通し行進者の竹田昭彦さんを先頭に、参加者 20 人で役場周辺、美深港の海岸通りを進み、カーフェリー乗り場まで行進。風が冷たく、手が凍える寒さでしたが、行進団のアピールに応じて沿道の通行人や行き交う車から手が振られ、参加者一同、心が温まりました。

正午から稚内市の行進が行われ、稚内市役所隣の総合文化センターから南稚内駅まで思いおもいのプラカードを掲げ、50 人で賑やかに行進しました。

日本原水協
6・9行動

世界大会パンフレットを街頭販売 原発・核問題に関心強く10冊売れました！

穏やかに晴れた 9 日、日本原水協は上野公園で「6・9 行動」を行い、署名を呼びかけながらできたの 2011 世界大会パンフレットを販売。若者を中心に 10 冊売れ、80 筆の署名と 705 円の募金が寄せられました。



写楽展を見に来たという若い男性（左写真）は、自身が 8 月 9 日生まれということで興味がある、ぜひ長崎の世界大会に参加してみたいと購入してくれました。

遠足に来たという大井町高校 3 年生や、署名をしてくれた人に「原水爆禁止世界大会ってご存知ですか？」と話しかけながら、今年は特に原発事故に関心が高まっているので、「原発と核兵器」という項目も作ったことなどを説明すると、買ってくれました。

日本人女声とフランス人男性のカップルは核兵器数を示した世界地図を見せると、フランスの 300 発の核兵器数に女性が男性に向か

って知ってる？と聞き、世界大会パンフを買ってくれました。

「原爆と人間」展パネルを熱心に見ていたニュージーランド人女性 2 人は「I don't believe nuclear weapons」（私は核兵器を信じない）と話しながら署名しました。※他の写真はブログにアップしています。

通し行進者の日記をブログで掲載中

北海道↓東京通し行進者の竹田昭彦さん、東京
↓広島コース通し行進者の石崎忠男さん、昨年の
同コース通し行進者の「ぶんちゃん」こと大越文
さんの日記が平和行進ブログ
(http://www.antiatom.org/peace_march/) で読
めます。